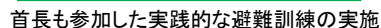
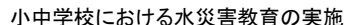
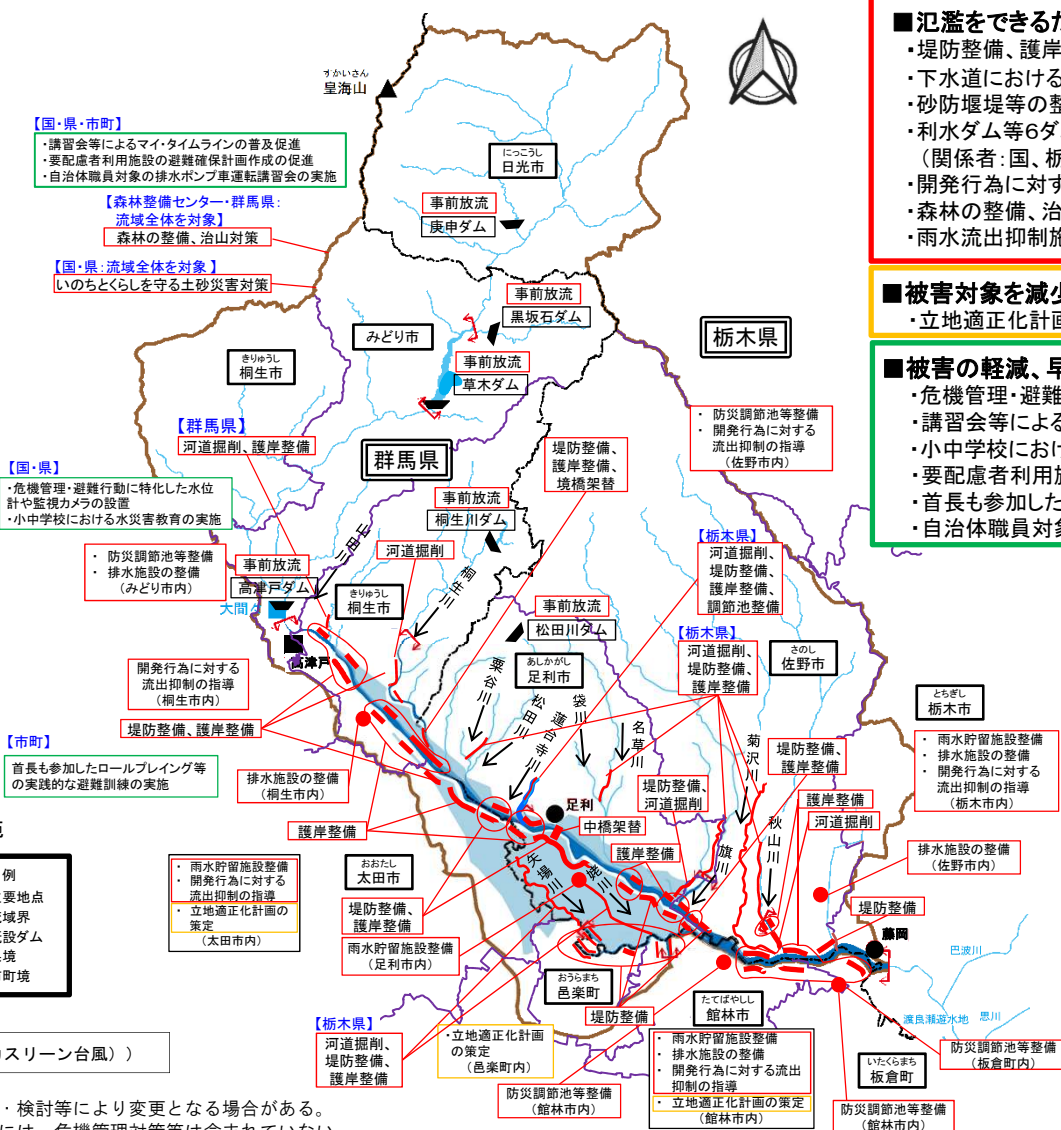


～地方都市の生活を支える抜本的な治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、利根川水系渡良瀬川においても、上流域は山間部を流れ河床勾配が急であり土砂流出が多いという流域の特性があり、下流部へ洪水を安全に流下させるために中橋架替や砂防施設の整備といった事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、戦後最大の昭和22年9月カスリーン台風と同規模の洪水に対して、資産の集中する地域での越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



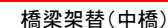
浸水範囲（昭和22年9月洪水実績（カスリーン台風））



- ・堤防整備、護岸整備、河道掘削、橋梁架替 等
- ・下水道における雨水貯留施設、排水施設の整備
- ・砂防堰堤等の整備(いのしとくらしを守る土砂災害対策)
- ・利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
(関係者: 国、栃木県、群馬県、水資源機構)
- ・開発行為に対する流出抑制の指導
- ・森林の整備、治山対策
- ・雨水流出抑制施設整備(雨水貯留施設、防災調節池等)

・立地適正化計画の策定

- ・危機管理・避難行動に特化した水位計や監視カメラの設置
- ・講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進
- ・小中学校における水災害教育の実施
- ・要配慮者利用施設の水災害確保計画作成の促進
- ・首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施
- ・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施 等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には、危機管理対策等は含まれていない。

渡良瀬川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～地方都市の生活を支える抜本的な治水対策の推進～

- 渡良瀬川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】渡良瀬川下流部堤防整備として秋山川(直轄区間)の堤防整備を完了するとともに、砂防施設の整備や、利水ダム等における事前放流等の実施や森林の整備、治山対策を実施する。
- 【中期】中橋の架替完了とともに、雨水貯留施設の整備、排水施設の整備や小中学校における水災害教育を引き続き実施する。
- 【中長期】上流部の堤防整備を完了し流域全体の安全度向上を図るとともに、首長も参加した実践的な避難訓練や立地適正化計画による水害に強い地域への誘導を引き続き実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下流部堤防整備、護岸整備、河道掘削等	国・県	秋山川(直轄区間)堤防整備完了	下流部の堤防整備完了	
	上流部堤防整備、護岸整備、河道掘削等	国・県			上流部の堤防整備完了
	橋梁架替(中橋等)	国・県・市		中橋架替完了	境橋架替完了
	砂防堰堤等の整備(いのちとくらしを守る土砂災害対策)	国・県		砂防堰堤施設の保全・整備等	
	利水ダム等における事前放流等の実施	県・水資源機構	協定締結		
	森林の整備、治山対策	森林整備センター・県	除間伐等の森林整備		
	下水道における雨水貯留施設の整備、排水施設の整備	市町		雨水貯留施設、雨水貯留浸透施設等の整備	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画による水害に強い地域への誘導	市町		水害リスクの少ない居住誘導区域への誘導等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	小中学校における水災害教育の実施	国・県		各小中学校において水災害教育(講習会)を実施	
	首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	市町		要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進等	

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※■■■■■:対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

■河川対策

全体事業費 約569億円
対策内容 堤防整備、河道掘削、橋梁架替 等

■砂防対策

全体事業費 約341億円
対策内容 砂防堰堤の整備 等

■下水道対策

全体事業費 約58億円